

令和5年度第1回上越市介護保険運営協議会 次第

日時：令和5年5月24日（水） 午後4時～

会場：上越市役所木田第一庁舎 401 会議室

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 新委員の紹介
- 4 副会長の選出
- 5 諮問
上越市第9期介護保険事業計画・第10期高齢者福祉計画策定について
- 6 議事
 - (1) 第9期介護保険事業計画・第10期高齢者福祉計画の策定について
 - ①計画策定に向けたスケジュールについて …資料1
 - ②計画策定に向けたアンケート調査について …資料2-1、2
 - (2) 地域包括支援センターに関する次期委託契約について …資料3
- 7 その他
- 8 閉会

「第9期介護保険事業計画・第10期高齢者福祉計画」策定スケジュールについて

時 期	運営協議会	上 越 市 (保 険 者)	国・県
令和5年 4月		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">計画策定の基本的考え方の整理</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">現状・課題の整理</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">介護保険 給付等の 整理・分析</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">統計データ の整理・ 分析</div>
5月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">第1回運営協議会（5月24日）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 諮問 ・ 計画策定に向けた調査の協議 ・ 地域包括支援センター次期委託契約 	<p style="text-align: center;">各種調査を実施</p> <p>①介護保険施設等稼働状況調査 ※保有データから検証</p> <p>②介護サービス等不足状況調査 ※調査対象…ケアマネジャー</p> <p>③介護人材の確保・定着に係る施策に関する調査 ※調査対象…介護保険事業所</p> <p>④特別養護老人ホーム入所待機者実態調査 ※R4 実施済み</p> <p>⑤施設整備意向調査 ※調査対象…介護保険事業所運営法人</p>	<p style="text-align: center;">事業計画基本指針改正（案）の提示</p>
6月			
7月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">第2回運営協議会（下旬～上旬）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各調査の結果報告 ・ 8期計画の検証 ・ 9期計画の方向性（国の基本方針） 		
8月			
9月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 要介護認定者数の推移 ・ 施設整備の検討 ・ 地域支援事業等の個別施策検討 ・ サービス見込み量の設定 ・ 保険料の見込み 	<p style="text-align: center;">（県）ヒアリング 計画の進捗管理 サービス見込み量や保険料など</p>
10月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">第3回運営協議会（中旬）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本理念、骨子（案） ・ 地域支援事業等の個別施策の方向性 ・ 施設整備、サービス見込み量 		
11月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">第4回運営協議会（中旬）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画（素案） ・ 介護保険料（仮） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画（素案）の作成 	
12月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">第5回運営協議会（上旬）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画（案）と介護保険料（案） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画案の検討・保険料案の策定 	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;">市長への答申</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;">議会〈所管事務調査〉（中旬）</div>	<p style="text-align: center;">報酬単価決定</p>
令和6年 1月		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;">パブコメの実施（1月上旬～2月上旬）</div>	
2月		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;">議会へ計画案の配布</div>	
3月		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;">「3月議会」 介護保険料改定等 関係条例の審議</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;">パブコメ後の意思決定 結果の公表</div>
4月		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px; background-color: #e0f7fa;">計画の公表</div>	

介護サービス等不足状況調査票（案）

事業所名 (電話番号)	()
介護支援専門員 氏名	

- 1 日常生活圏域のうち、あなたが担当する利用者がいる圏域（令和5年4月1日時点）を選び、左欄に○をご記入ください。（複数選択可）

以下に○ を記入	圏域名	区域
	城北	本町七丁目、北本町一丁目、北本町二丁目、北本町三丁目、北本町四丁目、東本町一丁目、東本町二丁目、東本町三丁目、東本町四丁目、東本町五丁目、西城町四丁目、幸町、栄町、新町、高土町一丁目、高土町二丁目、昭和町一丁目、昭和町二丁目、飯、御殿山町、滝寺、上昭和町、下正善寺、中正善寺、宇津尾、上正善寺、上綱子、中ノ俣、大町五丁目、仲町五丁目、仲町六丁目、寺町三丁目、北城町一丁目、北城町二丁目、北城町三丁目、北城町四丁目、本町六丁目
	城東	本町四丁目、本町五丁目、仲町四丁目、大町三丁目、大町四丁目、西城町一丁目、西城町二丁目、西城町三丁目、本町二丁目、本町三丁目、仲町二丁目、仲町三丁目、大町二丁目、大手町、南城町一丁目、南城町二丁目、南城町三丁目、南城町四丁目、東城町二丁目、東城町三丁目、本城町、大日、中田新田、上島、中々村新田、平岡、南田屋新田、北田屋新田、大道福田、富岡、藤野新田、とよば、子安、子安新田、鴨島一丁目、鴨島二丁目、鴨島三丁目、稲田一丁目、稲田二丁目、稲田三丁目、稲田四丁目、下稲田、寺、四ヶ所、西市野口、戸野目古新田、門田新田、寺町二丁目、大貴、平山
	城西	寺町一丁目、中通町、金谷、神山、南本町一丁目、南本町二丁目、南本町三丁目、本町一丁目、仲町一丁目、大町一丁目、東城町一丁目、南新町、南高田町、上門前、小滝、下馬場、朝日、黒田、灰塚、地頭方、青木、上中田、向橋、中田原、塩荷谷、上湯谷、東木島、西木島、島田上新田、島田、島田下新田、上箱井、中箱井、岡原、下箱井、五ヶ所新田、丸山新田、下新田、西田中、寺町、石沢、大和一丁目、大和二丁目、大和三丁目、大和四丁目、大和五・六丁目、稲荷、下四ツ屋、西松野木、長者町、天野原新田、本長者原、今池、桜町、藪野、辰尾新田、東稲塚新田、下稲塚
	雄志	戸野目、平成町、市野江、桐原、本道、荒屋、虫川、下野田、長面、上野田、四辻町、下池部、上池部、上真砂、杉野袋、南新保、北新保、高森、諏訪、東原、鶴町、北田中、米岡、米町、吉岡東市野口、剣、茨沢、藤塚、新保古新田、本新保、上雲寺、下新町、上新町、池、下富川、上富川、熊塚、野尻、稲、稲谷、上曾根、下曾根、高和町、元屋敷、高津、飯田、妙油、森田、十二ノ木、北方、南方、大口、東京田

以下に○ を記入	圏域名	区域
	八千浦	黒井、上荒浜、南荒浜、下荒浜、遊光寺浜、南原、夷浜、西ヶ窪浜、夷浜住宅団地
	直江津	西本町三丁目、西本町一・二丁目、中央一丁目あけぼの、栄町一・二丁目、東雲町一・二丁目、石橋一・二丁目、中央一丁目四ツ屋、中央一丁目旭区、中央二丁目横町、中央二丁目本町、中央三丁目荒川町、中央三丁目天王町、中央四丁目沖見町、中央四丁目福永町、中央五丁目浜町、中央五丁目塩浜町、西本町四丁目御幸町、住吉町、港町一・二丁目、市之町、国府一丁目、国府二丁目、国府三丁目、国府四丁目、五智一丁目、五智二丁目、五智三丁目、五智四丁目、五智五丁目、五智六丁目、虫生岩戸、小丸山団地、加賀町、五智新町、アシスト上越マンション
	直江津東	飯塚、中真砂、川端、東中島、若鷹、上千原、福橋下真砂、横曽根、下百々、駒林、小泉、長岡、長岡新田、上名柄、五野井、石川、上青野、中青野、下青野、岡沢、上吉野、下吉野、上五貫野、下五貫野、下名柄、東小猿屋、中小猿屋、西小猿屋、三田、三田新田、三ツ橋新田、三ツ橋、田園、安江、安江公営住宅、上源入、下源入、下門前及び塩屋新田、福田、佐内町、三ツ屋町、安江一丁目、安江二丁目、松村新田、港南町、春日新田、春日新田木町、春日新田五丁目、川原町及び日之出町
	春日	岩木一丁目、岩木二丁目、春日山町一丁目、春日山町二丁目、春日山町三丁目、大豆、春日野、春日、中門前、谷愛宕、大学南、土橋、新土橋、藤巻、木田新田、藤新田、木田、新光町、大学前、教育大山屋敷宿舎、教育大世帯寮、石橋、新光町三丁目
	潮陵	西横山、小池、西山寺、下綱子、高住、中桑取、西戸野花立、丹原、鍋ヶ浦、吉浦、茶屋ヶ原、有間川、長浜、横畑、皆口、西谷内、北谷、土口、増沢、東吉尾、西吉尾、大淵
	安塚	安塚区の全域
	浦川原	浦川原区の全域
	大島	大島区の全域
	牧	牧区の全域
	柿崎	柿崎区の全域
	大潟	大潟区の全域
	頸城	頸城区の全域
	吉川	吉川区の全域
	中郷	中郷区の全域
	板倉	板倉区の全域
	清里	清里区の全域
	三和	三和区の全域
	名立	名立区の全域

- 2 サービス調整をする場合に、介護サービス（介護予防を含む）の供給が不足していると思われる日常生活圏域がありましたら、お答えください。（不足していると思われる地域がない場合でも、各圏域の状況などについてお気づきの点がありましたら自由記述欄に記載してください。）

主なサービス種類		不足していると思われる圏域	自由記述欄 (不足の具体例、各圏域の状況など)
例	訪問介護	〇〇	・〇〇地域では対応できないため、△△地域のサービスを利用して不便
居宅サービス	訪問介護		
	訪問入浴介護		
	訪問看護		
	訪問リハビリテーション		
	通所リハビリテーション		
	通所介護		
	短期入所生活介護		
	短期入所療養介護		
	福祉用具貸与		
	特定福祉用具販売		
	特定施設入所者生活介護		
地域密着型サービス	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護		
	小規模多機能型居宅介護		
	認知症対応型通所介護		
	認知症対応型共同生活介護		
	定期巡回・臨時対応型訪問介護看護		
	地域密着型通所介護		
	居宅介護支援事業所		

- 3 高齢者への福祉サービスで上越市が充実すべきサービスや支援活動は何ですか。
番号に○をご記入ください。(複数選択可)

1. 紙おむつ助成事業	2. 寝具丸洗い・乾燥サービス事業
3. 訪問理・美容サービス出張費助成事業	4. 権利擁護等利用助成事業
5. 高齢者向け住宅リフォーム助成事業	6. 在宅介護手当給付事業
7. 高齢者外出支援事業	8. 地域支え合い事業
9. 要援護世帯除雪費助成事業	10. 緊急通報装置貸与事業
11. 訪問型サービスB	12. ふれあいランチサービス事業
13. 救急医療・災害時支援情報キット配布事業	14. ごみヘルパー制度
15. 避難行動要支援者支援事業	
16. その他 ()	
17. 特になし	

- 4 ケアマネジャーへの対応として、行政に期待することは何ですか。
番号に○をご記入ください。(複数選択可)

1. 介護保険制度(総合事業を含む)に関する情報の提供
2. 保健・福祉サービスの情報提供
3. ケアマネジャーの地位向上に関する取組
4. ケアマネジメントの質の向上に向けたケアプラン点検の実施
5. 研修会・講習会の実施
6. 医療との連携強化対策
7. 介護保険の迅速な要介護認定
8. ケアマネジャーの公正・中立性を確保する対策
9. 事業所の指導・監督等
10. 居宅介護支援事業所の独立性を尊重する対策
11. 事業所評価事業の実施
12. その他 ()

5 その他、ご意見やご要望等ありましたら記載してください。

～ 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。 ～

介護人材確保・定着に係る施策に関するアンケート調査票（上越市）

< 全体 >

事業所名	
サービス種別	

1. 貴事業所の状況についてお聞きします。

① 令和5年●月1日現在、貴事業所における職員の実人員を回答してください。ただし、**事務職員**は除いてください。

単位：人

	事業所全体					【再掲】													
	正規職員		非正規職員		合計	介護職員				看護職員				その他					
	専従	兼務	専従	兼務		正規職員		非正規職員		正規職員		非正規職員		正規職員		非正規職員			
専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務		
29歳以下					0														
うち男性					0														
30~39歳					0														
うち男性					0														
40~49歳					0														
うち男性					0														
50~59歳					0														
うち男性					0														
60~64歳					0														
うち男性					0														
65歳以上					0														
うち男性					0														
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【入力上の注意】
(兼務の取扱い)

他事業所と兼務している職員は、兼務時間の多少にかかわらず「1人」としてカウントしてください。
 自事業所内で兼務をしている職員は、**専ら従事している区分の専従**に「1人」としてカウントしてください。
 フルタイム勤務で雇用期間に期限がない無期雇用の働き方をしている職員（他法人等への出向者を除く）
 正規職員以外の全ての職員（パートタイム、アルバイト、派遣、契約、臨時、嘱託、その他）
 介護職員及び訪問介護員（ホームヘルパー）のみをカウントし、看護師資格所有者であっても介護職員として勤務している職員もこれに含まれます。

(正規職員)
 (非正規職員)
 (介護職員)

② ①で計上した正規職員、非正規職員は、どの職種で配置されていますか。

単位：人

	事業所全体				
	正規職員		非正規職員		合計
	専従	兼務	専従	兼務	
介護職員	介護福祉士				0
	介護職員実務者研修修了者				0
	介護職員初任者研修修了者（※）				0
	資格なし				0
看護職員	看護師				0
	准看護師				0
その他	理学療法士				0
	作業療法士				0
	言語聴覚士				0
	介護支援専門員				0
	管理栄養士・栄養士				0
	生活相談員				0
	社会福祉士				0
	資格なし				0

(※) 介護職員初任者研修修了者には、旧介護職員基礎研修修了者、旧ホームヘルパー1級・2級を含みます。

- ③ ①で計上した職員の中に、外国籍の職員がいますか。
「はい」を選択した場合は、別シートも記載してください。「いいえ」を選択した場合は下記設問にご回答ください。

[クリックで別シートへジャンプします](#)

- (1) 外国人材の採用に関心がありますか。「いいえ」を選択した場合は、次の設問で「6. 外国人の採用に関心がないため。」を選択してください。

- (2) 外国人材の採用に至っていない理由について最も近いものを1つ選んでください。
1. 外国人材を受け入れるための費用が高額なため。
 2. 採用ルートなど相談窓口が不明なため。
 3. 受入れの体制が整っていないため。
 4. 制度が実態に合わないため。
 5. その他
 6. 外国人の採用に関心がないため。 ←(1)で「いいえ」を選んだ場合に選択してください。

「5. その他」を選択した場合のみ、ご記入ください。

2 職員の採用・離職状況についてお聞きします。

- ① 過去1年間（令和4年4月1日～令和5年3月31日）の採用に係る希望と実績並びに離職者数を記入してください。

単位：人

		採用状況						離職状況				
		事業所側採用希望数		実際に採用できた人数				自己都合		その他		
		正規職員	非正規職員	正規職員	うち新卒者		非正規職員	うち新卒者		正規職員	非正規職員	
			県内学校卒	県外学校卒		県内学校卒	県外学校卒					
介護職員等	介護福祉士											
	介護職員実務者研修修了者											
	介護職員初任者研修修了者											
	資格なし											
看護職員	看護師・准看護師											
	理学療法士											
その他	作業療法士											
	言語聴覚士											
	介護支援専門員											
	管理栄養士・栄養士											
	生活相談員											
	社会福祉士											
	資格不問											
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- ② 主な採用ルートについて、下記の1～12のうち主なものを3つまで、番号を記入してください。
1. 高等学校
 2. 専門学校
 3. 大学
 4. 福祉人材センター
 5. インターネット
 6. ハローワーク
 7. 従業者からの紹介
 8. 人材紹介会社
 9. 新聞・広告
 10. 就職フェア
 11. 知人
 12. 実習生

3 介護ロボット・ICTの導入状況についてお聞きします。

- ① 介護ロボットやICTを導入していますか。
「4. 導入はしていない」を選択した場合は次の設問で「導入していない」を選択してください。

1. 介護ロボットとICTのどちらも導入している。
2. 介護ロボットのみ導入している。
3. ICTのみ導入している。
4. 導入はしていない。

「1. ～3.」を選択した場合、導入している内容（機器の名称等）を具体的にご記入ください。

- ② 今後、介護ロボットやICTを導入（追加）する予定はありますか。
「1. ～3.」を選択した場合は次の設問で「5. 導入の予定がある。」を選択してください。

1. 介護ロボットとICTのどちらも導入するつもりである。
2. 介護ロボットを導入するつもりである。
3. ICTを導入するつもりである。
4. 導入する予定はない。

- ③ 介護ロボットやICTを導入（追加）する予定がない理由について、最も近いものを1つ選んでください。

1. 導入費用が高額なため。
2. 導入後の費用が高額なため。
3. 導入しても、現場の負担軽減につながるかわからないため。
4. 現段階で、介護ロボット等の導入のメリットを検討していないため。
5. その他
6. 導入の予定がある。 ←③で「1. ～3.」を選んだ場合に選択してください。

「5. その他」を選択した場合のみ、ご記入ください。

4 介護人材確保・定着に関する問題意識について、主なものを3つまで選んでください。

1. 求人への募集が少なく事業所で欲しい人材を選べない。
2. 必要とする有資格の職員の絶対数が確保できない。
3. 必要とする職員（有資格・無資格問わず）の絶対数が確保できないこと。
4. 求職者（職員）が求める賃金水準を支払う経済的な余力がないこと。
5. 中堅職員が育っていないこと。
6. 事業所と求職者の勤務条件のミスマッチ（勤務時間帯や夜勤等）による勤務シフト管理が困難。
7. 採用後の離職率が高いこと。
8. その他（ ）

--	--	--

「8. その他」を選択した場合のみ、ご記入ください。

--

5 介護人材確保・定着に向けて、行政に期待したい支援について、区分の1～5から上位3つに順位をつけてください。そして、順位をつけた3つについて、それぞれ具体的な支援を1つずつ選んでください。（各区分内での複数選択不可）

区分	具体的な支援
1. 経費	①求人活動に係る経費の助成
	②資格取得に必要な試験費用・研修受講費の助成
	③介護ロボット導入経費の助成
	④ICT化に向けた導入経費の助成
	⑤その他（ ）
2. 研修	⑥介護助手を輩出するための介護の入門的研修の開催
	⑦その他（ ）
3. 啓発	⑧介護職場のイメージアップ
	⑨その他（ ）
4. 外国人人材	⑩（ ）
5. その他	⑪（ ）

<順位>	<区分>	<具体的な支援>	
第1位			
第2位			
第3位			

「⑤」「⑦」「⑨」「⑩」「⑪」を選択した場合のみ、具体的な支援をご記入ください。

6 介護人材確保・定着について、ご意見、ご提案がありましたら記入してください。

③ 主な採用ルートについて、下記の1～7のうち主なもの3つ、番号を記入してください。

1. 監理団体 2. 専門学校（留学生） 3. インターネット 4. ハローワーク 5. 就職フェア 6. 知人 7. その他

--	--	--

「7. その他」を選択した場合のみ、ご記入ください。

--

2 外国人の介護人材確保・定着について、ご意見、ご提案がありましたら記入してください。

--

6 議事

(2) 地域包括支援センターに関する次期委託契約について

はじめに

◎令和4年度における取組

地域包括支援センターの次期（令和6年度～）委託更新に向け、センターの機能強化等について検討

・7/15	第1回地域包括支援センター運営協議会
・8/5～8/23	受託法人との意見交換
・10/26	第1回介護保険運営協議会
・11/16	第2回地域包括支援センター運営協議会
・1/30～2/8	受託法人との意見交換
・2/14	第3回地域包括支援センター運営協議会

目次

① 現状と課題

- ア) 当市における高齢者の現状と課題
- イ) 地域包括支援センターにおける現状と課題

② 次期委託契約における見直し内容について

- ア) 地域包括支援センターのエリアの増
- イ) 地域包括支援センターの機能強化

③ 次期受託候補事業者の選定方法等

④ 今後のスケジュール

① 現状と課題

ア) 当市における高齢者の現状・課題

- ・後期高齢者人口の状況
市の後期高齢者人口のピークは、令和12年度(推計)
支援が必要な高齢者の増加が想定される。
- ・調整済み要介護認定率の状況
令和2年度における調整済み要介護認定率は、県平均を上回っている。

⇒ 改めて、軽度の人への介護予防や自立に向けた支援をしっかりと行っていく必要があることを確認

- ・春日・有田区域における高齢者人口の状況
春日・有田区域では、高齢者人口が増加しており、今後も増加する見込み
- ⇒ 国の基準(概ね3,000人～6,000人)を踏まえた体制づくりが必要

イ) 地域包括支援センターにおける現状・課題

(これまでの取組状況や意見交換等を踏まえて)

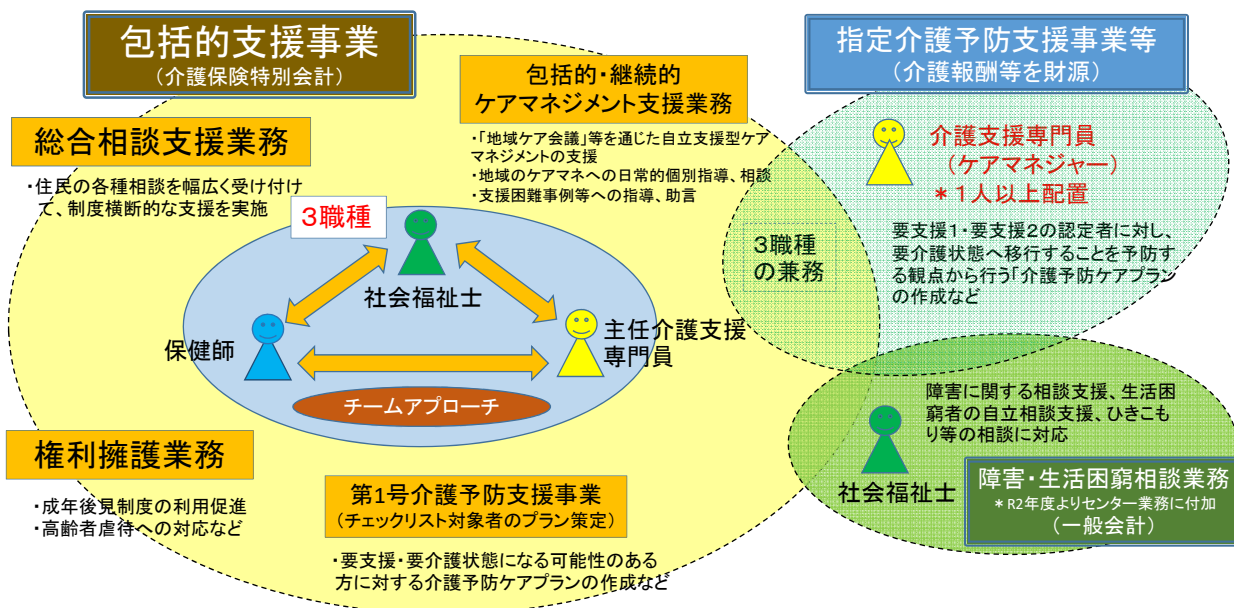
- ・介護予防支援(プラン作成)の状況
介護予防支援(プラン作成)業務の増加

⇒ 包括的支援事業をしっかりと行っていける体制づくりが必要

- ・人材確保の状況
専門職の確保に苦労している現状がある

⇒ 3職種、障害・生活困窮担当以外の職員の資格要件の緩和

◎ 地域包括支援センターの業務



② 次期委託契約における見直し内容について

ア) 地域包括支援センターのエリアの増

◎ 春日・有田エリアの分割

- 国基準（高齢者人口が概ね3千人～6千人）
- 国基準を大きく上回り、今後も高齢者が増え続ける春日・有田エリアを春日エリア、有田エリアに分割
- 地域包括支援センターのエリア数：11エリア → 12エリア

イ) 地域包括支援センターの機能強化

◎ 3職種が包括的支援事業等に専念できる体制の整備

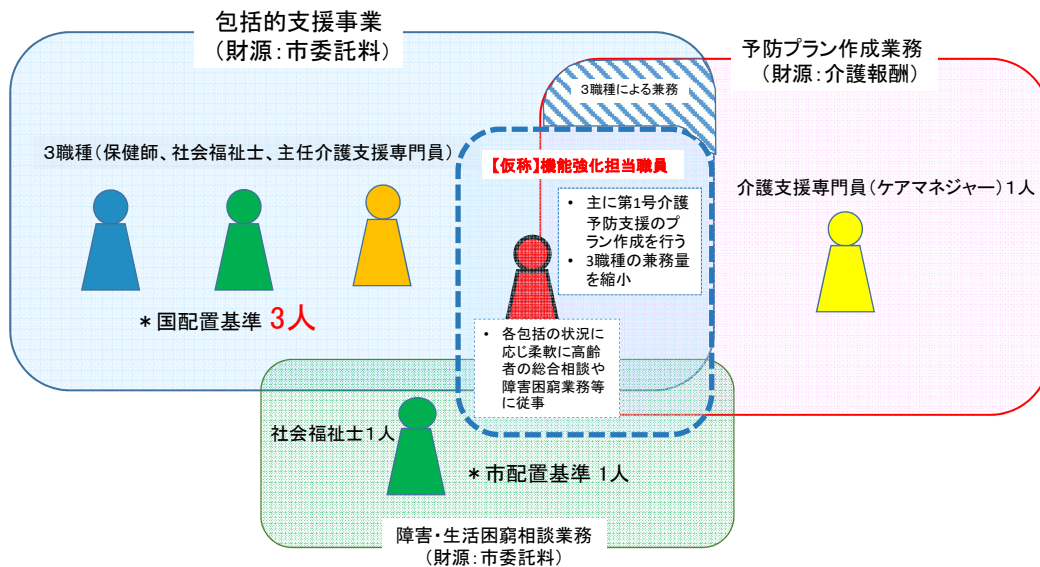
(i) (新規)機能強化担当職員を配置

- 業務内容：プラン作成(主に第1号介護予防支援)、高齢者の相談、障害困窮の相談
- 資格要件：次のいずれかに該当する者
 - ① 3職種(準じる者含む)
 - ② 介護支援専門員(ケアマネジャー)
 - ③ 高齢者保健福祉に関する相談業務等に3年以上従事した社会福祉主事
- 配置エリア：専門職1人当たりの高齢者人口が1,250人以上となる10エリア
※ 「浦川原、安塚、大島、牧」及び「三和、中郷、板倉、清里」の2エリアを除き配置

(ii) 3職種等が行うプラン作成数の基準を設定

- 包括的支援事業と指定介護予防支援事業の役割の明確化

◎ 令和6年度以降の業務分担イメージ



③ 次期受託候補事業者の選定方法等

◎ 選定方法

- 前回に引き続き、選定委員会を立ち上げ、公募提案方式にて実施

◎ 更新期間

- 令和6年度～11年度(介護保険事業計画2期6年)
- ただし、社会情勢の変化や体制に関わる課題等があれば、必要に応じ委託内容等の見直しを実施

④ 今後のスケジュール

区分	時期	会議等
令和5年度	6月上旬	事業者選定委員会設置（地域包括支援センター運営協議会委員等より選出）
	6月中旬	募集要項公開
	7月上旬	事業者向け説明会
	7月	提案書受付
	8月	プレゼン審査
	9月	受託候補事業者決定
	1月～3月	新旧事業者引継
令和6年度	4月1日～	新たな体制での運用開始